

低収縮モルタルのエキスパート

シ ー エ ル 8

～人に優しく、自然環境に適した居住空間を持つ安心な住まい～

シーエル 8

当社仕上げ材のシーエル5の中塗り材として、又独自の仕上げ材としての特徴をも発揮しつつ、長年に渡り多くのプロ技術者の皆様方にご支持いただき、採用された多くの現場では大きな成果を残し、評価して頂いています。

将来に向けては更なる飛躍を約束された、当社唯一の低収縮モルタルです。

「シーエル8」の誕生に依り当社仕上げ材の施工性が数倍にアップして白色セメント系仕上げ材の気品の良さ、優雅さ、高級感を再認識していただいております。

〔目 的〕

この施工マニュアルは、「シーエル8」の塗り工事における品質確保と低亀裂性、耐久性等を追及する為のものです。

〔用 途〕

「シーエル8」は、その収縮率の低さから内外層仕上施工前の下地材として強力なパートナーであり、又、本来の梨目仕上げの仕上材としても多くの左官技術者のファンを魅了してきました。

白セメントをベースに寒水石等の骨材他混和材を見事なまでにブレンドして、多彩なバリエーションを壁面に表現いたします。

〔適用下地〕

・モルタル ・コンクリート ・ALC版 ・プラスターボード

※「シーエル5」の施工下地には必ず採用して下さい。

〔使用材料〕

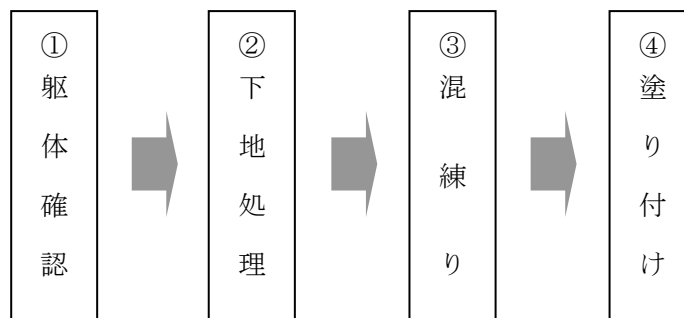
「シーエル8」 20kg/防湿紙袋入り
「NICE ラテックス」(高性能アクリル樹脂) /18kg 缶入り、4kg, 1kg ポリ容器入り ※吸水調整材、およびモルタル接着増強剤
「CLタフガード」 ビニロン繊維のFRC補強メッシュ、 幅 [1m、33cm、20cm、10cm] の4種類 全て 100m 巻き

〔調 合〕

シーエル 8	20 kg / 袋
NICE ラテックス #45	約 0.5～1 kg
清 水	約 4 ℓ

練り上がり量 : 約 14 ℓ
標準塗厚 : 約 3～4 mm
標準施工面積 : 約 3.5 m² / (4 mm厚 / 1袋)

〔施 工 工 程〕



〔施 工 方 法 〕

● 「モルタル、コンクリート」下地の場合

① 躯体確認

- 1) 施工前に躯体温度が5℃～40℃の範囲内（適正温度）であるか確認し、範囲外であれば水打ち、シート養生等して適正な温度にして下さい。

※躯体が高温度の場合、ドライアウト、亀裂、浮き、剥離等の原因となり、低温度の場合接着不良、硬化遅延、ズレ、剥離、白華等の原因となります。

- 2) コンクリートに施工する際には壁面のピンホール、ジャンカ、段違い面などが綺麗になおかつフラットに補修してあるか、モルタル下地に施工する際には、モルタルの表面がフラットに仕上がっているか、また、硬化不良、浮き、ひび割れなど「シーエル8」の塗りに支障がないかを点検し、支障のある場合は管理者と協議の上適切な処置を講じて下さい。

※モルタル下地が、サンドモルタル系の場合は施工を避けて下さい。(モルタル下地の詳しくは「ベースモルタルB」標準施工マニュアルを御覧下さい。)

※コンクリート下地が、JASS 5〈鉄筋コンクリート工事〉の標準を満たしていない場合は、施工を避けて下さい。

② 下地処理

- 1) モルタル下地と「シーエル8」との界面の付着強化を増強するために、モルタル表面のエフロ除去を徹底して下さい。
- 2) さらに「NICE ラテックス #45」の3倍液(「NICE ラテックス #45」 1 : 清水 2)を壁面全体に充分塗布し、乾燥させて下さい。
- ※ 1)は「NICE ラテックス #45」の10倍液を作り刷毛、ブラシで壁面を掃きながら、エフロ除去はもちろんのこと、ドライアウトも併用して防御して下さい。

③ 混練り

「シーエル8」 …… 1袋 (20kg)	「NICE ラテックス #45」 …… 0.5～1 kg	清水 …… 4ℓ
----------------------	------------------------------	----------

- 1) まず、バケツ等の容器に清水4ℓを入れ、続いて「NICE ラテックス #45」を0.5～1 kg入れて良くかき混ぜ混合水を作ります。
- 2) 標準水量より少なめの混合水(あらかじめ「NICE ラテックス #45」を希釈した水溶液)をバケツもしくはミキサー等の混練り容器にとり、「シーエル8」を加えながら混練りして下さい。
- 3) 続いて残りの混合水を少量ずつ加えて混練りし、適度の軟度に調整して下さい。

④ 塗り付け

- 1) モルタル下地の表面確認後、良く混練りされた「シーエル8」をシゴキ塗りし、追っかけて3mm～4mm程度の塗り厚で平滑に塗り付けて下さい。(表面は梨目仕上げしか出来ません)

※「シーエル5」等、仕上材の下地として施工の場合は「養生期間を1日」置いてから仕上材の施工をして下さい。

●「ALC版（軽量発泡コンクリート）」下地の場合

① 躯体確認

- 1) ALCパネルの表面の通りが極力凸凹のないように真っすぐにして下さい。
- 2) ALCパネルの表面のほこり、ひび割れなど「シーエル8」の塗りに支障がないか点検し、支障のある場合は管理者と協議のうえ適切な処置を講じて下さい。

※ほこりの清掃は施工日当日、ひび割れがある場合は、2～3日前に補修をして下さい。

※施工前に躯体温度が5℃～40℃の範囲（適正温度）であるか確認し、範囲外であれば、水打ち、シート養生などをして適正な温度にして下さい。

※躯体が高温度の場合、ドライアウト、亀裂、クラック、浮き、剥離、などの原因となり低温度の場合、接着不良、硬化遅延、ズレ、剥離、白華などの原因となります。

※特にひび割れについては濾水の原因となるおそれがあるため十分注意して下さい。

- 3) ALCパネルのジョイント部のコーキングが十分充填されているか確認し、充填不足が確認された場合は速やかに是正して下さい。

② 下地処理

- 1) モルタルの付着を強固にするため、ALC版表面のほこり、汚れ、油分などをブラシ、サンドペーパー等を用いて除去して下さい。
- 2) ALC版面の吸水調整のため、下地清掃後に「NICE ラテックス #45」の4倍液～5倍液を刷毛やローラー等でダレ、塗り残しの無い様均一に塗布して下さい。

※吸水調整材塗布後、長時間放置すると埃等が付着し、モルタルの接着を阻害する恐れがあるので、3日以内には「シーエル8」を塗り付けて下さい。

③ 混練り

「シーエル8」…………… 1袋(20kg)	「NICE ラテックス #45」 ……0.5～1 kg	清水…………… 4ℓ
-----------------------	-----------------------------	------------

- 1) まず、バケツ等の容器に清水4ℓを入れ、続いて「NICE ラテックス」を0.5～1 kg 入れて良くかき混ぜ混合水を作ります。
- 2) 標準水量より少なめの混合水（あらかじめ「NICE ラテックス」を希釈した水溶液）をバケツもしくはミキサー等の混練り容器にとり、「シーエル8」を加えながら混練りして下さい。
- 3) 続いて残りの混合水を少量ずつ加えて混練りし、適度の軟度に調整して下さい。

④ 塗り付け

（目地部の処理と下塗り）

- 1) 混練りされた「シーエル8」を表面が均一になる様ALC版のジョイント部に塗り付けして下さい。
 - 2) さらに「CLタフガード」を適当な長さに切断してジョイント部に貼り付け鏝で押さえ込んでネットをサンドイッチ状にして下さい。（養生期間1日）
 - 3) ジョイント部の乾燥を確認してから壁面全体に混練りされた「シーエル8」を3～4 mm 塗り付け、水引の頃合いを見計らって平滑にして下さい。
- ※「シーエル5」等、仕上材の下地として施工の場合は「養生期間を1日」置いてから仕上材の施工をして下さい。

使用上の注意事項

本品は厳重な品質管理のもと、工場にて製造された既調合品です。

「使用上の注意事項」及び「取扱い時の安全対策（概要）」を確認の上、安全対策には十分留意してご使用下さい。

1. 既調合品の為、指定材料以外のものを練り混ぜないで下さい。なお、混練りには水道水等の清水を使用して下さい。
2. 混練りした材料は夏期 1 時間、冬期 2 時間以内に使用して下さい。練り足しや加水して練り戻しをしないで下さい。
3. 強風や直射日光等による急激な乾燥を防止するため、シート養生等適切な措置をして下さい。
4. 本品使用時の施工は、気温が 5℃～35℃の範囲内で行ってください。
5. 製品の製造年月日を確認し、製造から 6 カ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。
6. 下地コンクリートが、JASS 5〈鉄筋コンクリート工事〉の標準を満たしていない場合は施工を避けて下さい。
7. 悪天候（降雨、降雪等）、またその恐れがある場合は施工を避けて下さい。

取扱い時の安全対策（概要）

・ 取扱い及び保管上の注意

1. 目や皮膚等に触れないように適切な保護具（保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等）を着用して取り扱って下さい。また、取扱い後は顔、手、口等を水で洗浄して下さい。
2. 製品の保管は、セメント同様の取り扱いとし、雨露のかからない屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管して下さい。

・ 応急処置

〔目に入った場合〕

直ちに清浄な水で最低 15 分間洗浄し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。

〔皮膚に付着した場合〕

速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔吸引した場合〕

速やかに新鮮な空気のある場所へ移動し、水または温水でうがいを行って安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔飲み込んだ場合〕

水でよく口の中を洗う等して、直ちに医師の診断を受けて下さい。

・ 濾出時の注意

飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋等に回収して下さい。

・ 廃棄場の注意

廃棄する製品や混練り材等は硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水等の排出は水質汚濁防止法等に注意して下さい。

・ 輸送上の注意

破袋、荷崩れ、落下等の防止策を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。

※本マニュアルの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

プレミックスの開発メーカー



株式会社 豊運



本社・営業本部 〒546-0003 大阪市東住吉区今川3丁目12番4号

TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133

東日本営業部 TEL 0247-54-3232 FAX 0247-24-1004 岡山営業部 TEL 0868-38-4001 FAX 0868-38-7022
大阪営業部 TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133 京都営業課 TEL 0771-86-0711 FAX 0771-86-0811

URL: <http://www.ho-un.co.jp/>